

幼稚園選んで本当に難しいですよ。年間行事を見てみたけれど、どの幼稚園もほとんど一緒だし、どこも同じことをしているんじゃないの？」…。いえいえ、幼稚園によって全然違うんです。それがよくわかるのが園見学です。普段の幼稚園の様子を見ていただければ、「この幼稚園に入ったら、こんなふうにごすんだなあ。」と、在園児に我が子を重ねて見ることが出来ます。「でも、はじめて見学に行くときに、どの辺を見たらいいかわからない…」という方も多いと思います。

そこで、「幼稚園選びのポイント」を6つ挙げてみました。よかったら園見学時の参考にしてみてください。

幼稚園選びのポイント



ポイント

1 園児達の表情はどうか

「いきいきとした表情の子ども達がいるか？」…見学して子ども達から楽しさが伝わってくるかどうかポイントです。園児の表情を見れば、子どもが楽しんで活動しているかどうかすぐにわかります。また笑顔だけでなく、真剣な表情できちんと話を聞き、活動に参加できているかも大きなポイントです。

ポイント

2 教職員と信頼関係が築けそうか

幼稚園と家庭とがしっかりとタッグを組んでこそ、最高の子育てができるものです。言い換えれば、信頼関係が築けてこそ子どもだけではなく、お母さん、お父さんも楽しい幼稚園生活を送ることができるようになります。まずは教職員と信頼関係が築けるか？という視点で教職員を見てください。



ポイント

3 教育方針と実践との整合性

保育に対するきちんとした考えとその考えのもととなる根拠があるかどうかです。保育を表面的に見るのではなく、「どういう考えで実践されているのか？」を聞いてみてください。もちろん、きちんとした根拠のもとに実践されているかもポイントです。

方針だけがよくてもそれが実践できていないとよい保育だとは言えません。



ポイント

4 保育内容はどうか

幼稚園はただ楽しいだけではなく、子ども達に身に付くものがなくてはなりません。つまり、場当たりの保育ではなく、しっかりとした理念のもとに見通しをもった保育がなされているかどうかポイントです。年少で入園したのなら3年後までの子どもの育ちをとらえた保育展開になっているかどうか、楽しいだけではなく、子どもにとって意味のある保育内容になっているかどうかポイントです。



ポイント

5 整備されているか

安全管理がきちんとできているかは預ける側としては大変気になる場所です。外部からの侵入者の管理だけでなく、遊具などでの事故を想定しての安全管理ができていないか、危険回避能力を養うためにどのようなことをしているかなども確認してみてください。

また、設備による安全管理だけではなく、人による安全管理体制ができていないかも確認する必要があります。預かり保育など制度的な面でも子どもを預けやすい環境になるかどうかポイントです。



ポイント

6 園長の考え方

園長先生の考え方ってとっても大事です。もちろん教育方針に大部分は反映されていると思いますが、教育方針はパッと見たところ、どこも同じようなものが多く、わかりにくいのではないかと思います。どのような考えのもとに保育や教職員教育がなされているのか？直接、園長先生にお会いして、教育に対する思いや考えを聞いてみてください。

幼稚園選びのポイントとして6つあげてみました。ほとんどは入園案内では知ることができません。入園案内を手にとられ、気になる園があれば、実際に足を運んで見学されることをおすすめします。人それぞれ感じ方が違うので、見学されれば、うわさなどに流されることなくご家庭にあった幼稚園を選ぶことができるでしょう。

